

「愛知県その道の達人」派遣事業 実施報告書

<p>達人 名</p>	<p>久保田 康司 先生 (ラジオ番組制作の達人)</p>
<p>実施 校</p>	<p>新城市立鳳来中学校</p>
<p>実施 日</p>	<p>平成20年10月9日(木曜日)</p>
<p>実施学級</p>	<p>2年(101人)</p>
<p>授業の実際</p>	<div data-bbox="448 454 1326 1014" data-label="Image"> </div> <p>< 12:45 ~ 13:05 > 校内放送で</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 達人及び放送局のDJによるお昼の校内放送の実演。 *お昼の校内放送がラジオの達人によって行われることを各担任から学級の生徒に知らせる。 2 全校生徒でお昼の校内放送を聴く。 <p>< 13:30 ~ 15:10 > 講堂で</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 学年主任からラジオの達人であることを話し、達人を紹介する。 2 達人の話を聴き、放送の現場の様子を知る。 3 ラジオDJ二人の話を聴き、話し方の工夫を発表し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 場面の様子が思いうかぶように話している。 ・ 知識が豊富で、聴く人を楽しませるように話している。 ・ 放送で使える言葉と使えない言葉をはっきりさせていた。(差別用語等) 4 楽しくはっきりと相手に伝わるように話す練習をする。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 代表生徒による話し方の練習 5 達人、DJに質問する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 放送関係の仕事に就こうとしたきっかけは。 ・ 放送関係の仕事をしていて楽しいことや辛いことは。
<p>生徒の感想</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ テレビでは伝わらないようなことも、ラジオでは伝わるんだと思った。 ・ テレビとは違ったおもしろさがあり、テレビよりラジオの方が話す人が身近にいるような気がしてすごく興味がもてた。 ・ ラジオの仕事をしている人は話をするのが得意で、聴いていて楽しかった。自分もあんなふうに人を楽しませるように話をしたいと思った。 ・ 放送のやり方や工夫など放送に関する知識が少し身についたと感じた。
<p>教師の感想</p>	<p>今回は、放送局のDJの校内放送の実演もあり、マスコミ関係に興味を抱いているこの時期の生徒には、非常に興味深いものであったと感じた。達人やDJの話から、ラジオの向こうでどんな活動が行われているのか、テレビにはないラジオの長所とそこで働く人々の苦勞と工夫を感じ取ることができた生徒が多かった。教師の多くは学生時代にラジオに親しんだものも多く、達人やDJから学ぶことが多くあった。相手を意識した話し方を指導する上で有効であったと思う。</p>